

尾花沢市スポーツ推進計画

～ スポーツに親しみ健康で活力のある元気なまちづくり ～

S
P
O
R
T

BANAZAWA



尾花沢市教育委員会

はじめに



尾花沢市では、「スポーツに親しみ健康で活力のある元気なまちづくり」を基本理念に、令和3年3月に策定された「第7次尾花沢市総合振興計画」をスポーツ振興の側面から実現するため、ここに「尾花沢市スポーツ推進計画」を策定しました。

少子高齢化を伴う急激な人口減少や、市民の生活環境も社会情勢の移り変わりとともに変化する中、市民一人一人の健康増進や体力向上の役割に加えて、地域経済の活性化やコミュニティーの再生など、スポーツの果たす役割への期待は益々高まってきております。

本市でも、平成26年度からスタートした「元気おばね『絆』駅伝」は、正に、各地域の活性化と世代や集落を超えた結束、更にはパラスポーツへの関心を高め、本市全域のつながり「絆」を生んでいます。更に今年度は、夏冬ともにオリンピック・パラリンピックが開催されましたが、本市からは東京五輪には太田渉子選手が、北京五輪には尾崎光輔選手が、それぞれテコンドー、バイアスロンの競技に出場し、市民の心を熱くするとともに、尾花沢市民として誇らしく思える活躍が見られ、改めてスポーツの持つ力の強さを感じたところです。

今後、本計画を推進していくことで、すべての市民一人一人が、自分に合ったスポーツの楽しみ方を見つけ、スポーツを通じて人や地域とつながることで、生涯にわたって健康で生き生きと充実した日々を遅れますことを心から願っております。

全国的には、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、スポーツ振興への機運の高まりが感じられておりますが、今後の本市のスポーツ振興を図る上では、市民の皆さんや関係する各団体の皆さんとともに行政が協働して取り組んでいくことが不可欠であると考えております。今後ともご支援・ご協力をお願いいたします。

最後に、本計画の策定にあたり、ご審議いただきました尾花沢市スポーツ推進計画策定委員の皆さまをはじめ、貴重なご意見をお寄せいただきましたスポーツ関係団体の方々、アンケート等を通して広くご意見をいただきました市民の皆さまに深く感謝申し上げます。

令和4年(2022年)3月

尾花沢市教育委員会教育長 五十嵐 健